

Mizuho Daily Market Report

2024/11/15

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	155.84	156.27	+0.81	+3.33
EUR	1.0551	1.0530	▲0.0034	▲0.0275
AUD	0.6475	0.6454	▲0.0031	▲0.0225
SGD	1.3442	1.3462	+0.0034	+0.0261
CNY	7.2371	7.2271	▲0.0069	+0.0837
MYR	4.4872	4.4855	+0.0382	+0.0812
THB	34.96	35.10	+0.42	+0.80
IDR	15862	15855	+80	+120
PHP	58.79	58.79	+0.04	+0.05
INR	84.41	84.41	+0.02	+0.03
VND	25392	25394	+48	+29

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.435%	▲1.6 bp	+11.0 bp
日本(10年)	1.064%	+1.4 bp	+5.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.341%	▲4.9 bp	▲10.4 bp
オーストラリア(5年)	4.312%	▲0.3 bp	+7.1 bp
シンガポール(5年)	2.831%	+3.2 bp	+5.0 bp
中国(5年)	1.717%	▲0.7 bp	▲4.6 bp
マレーシア(5年)	3.662%	+0.7 bp	+0.2 bp
タイ(5年)	2.195%	▲2.0 bp	▲3.1 bp
インドネシア(5年)	6.734%	+5.7 bp	+0.7 bp
フィリピン(5年)	5.831%	+1.2 bp	+2.7 bp
インド(5年)	6.807%	+3.5 bp	+4.2 bp
ベトナム(5年)	2.040%	+0.0 bp	+3.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	43,750.86	▲0.5%	+0.0%
N225(日本)	38,535.70	▲0.5%	▲2.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,833.53	+2.0%	▲0.4%
ASX(オーストラリア)	4,417.25	+0.6%	▲0.8%
FTSE(シンガポール)	3,738.16	+0.5%	+1.8%
SSEC(中国)	3,379.84	▲1.7%	▲2.6%
SENSEX(インド)	77,580.31	▲0.1%	▲2.5%
JKSE(インドネシア)	7,214.56	▲1.3%	▲0.4%
KLSE(マレーシア)	1,600.68	▲0.7%	▲1.4%
PSE(フィリピン)	6,557.09	▲2.3%	▲6.5%
SETI(タイ)	1,450.12	▲0.1%	▲1.3%
VNINDEX(ベトナム)	1,231.89	▲1.1%	▲2.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	280.52	+0.1%	▲2.0%
金	2,564.85	▲0.3%	▲5.2%
原油(WTI)	68.70	+0.4%	▲5.1%
銅	8,861.99	▲0.5%	▲7.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	154.80	—	157.00
EUR/USD	1.0520	—	1.0600
AUD/USD	0.6435	—	0.6530
USD/SGD	1.3410	—	1.3480
USD/CNY	7.2060	—	7.2490
USD/INR	4.4800	—	4.5030
USD/THB	34.80	—	35.15
USD/IDR	15630	—	15930
USD/PHP	58.22	—	58.88
USD/INR	83.45	—	84.55
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は155円台半ばでオープン。前日の米国時間からのドル高の流れが継続し、朝方から前日の高値を上抜ける一時7月以来の高値となる156円台前半まで上昇。その後やや値を戻し155円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に対ドルで軟調な動き。前日比下げ幅が大きかったタイバーツは1.2%安、マレーシアリングは0.9%安へ下落。

海外市場のドル円は155円台半ばでスタート。共和党が米上下両院で多数派を確保するとの見方が強まり、トランプトレードが一段と織り込まれる中、米金利高の展開を受けたドル買いが優勢となり、一時156円台前半まで上昇。その後は買い一巡となり、156円ちょうど付近でNYオープン。朝方に発表された米10月コアPPI(前月比)が予想を上回った他、米新規失業保険申請件数も予想を下回った事が買い要因となり、発表後は156円台前半付近まで上昇。しかし、その後は米金利の低下が重しとなり、156円手前付近で上値重い推移が続く。午後はパウエル議長が「利下げを急ぐ必要性はない」との認識を示すと、12月会合での利下げ観測が後退し、156円台半ばまで買われる。その後は小幅反落し、156円台前半でクロース。

【金利】

昨日の米金利は短中期ゾーンで上昇、長期ゾーンで低下となり、カーブはツイストフラット化。米10年債利回りはアジア時間からNY時間にかけじりじりと金利低下を辿った後、NY時間朝に発表された経済指標を受け一時金利上昇で反応するもすぐ値を戻し、NY時間午後にはトランプ新政権に関するヘッドライン等に対し金利は上昇で反応するも、前日比では1.6bpの低下でクロース。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移継続を予想。足元、米国ではディスインフレーションの停滞や労働市場の堅調さが確認されていることも背景に12月利下げ織込は剥落傾向にある。FRBからも利下げを急ぐ発言は出ておらず、引き続きドルに資金が集まりやすい状況は変わらないと見ている。

【本日の予定】

(日本) 3Q GDP(速)
(日本) 9月 第3次産業活動指数
(日本) 9月 設備稼働率 / 鉱工業生産(確)
(日本) 国債入札(5Y)
(アジア) 10月 インド 貿易収支
(アジア) 10月 インドネシア 貿易収支
(アジア) 10月 中国 不動産投資 / 住宅不動産販売 / 調査失業率
(アジア) 10月 中国 新築住宅価格 / 中古住宅価格
(アジア) 10月 中国 鉱工業生産 / 小売売上高 / 固定資産投資
(アジア) 3Q マレーシア 国際収支 / GDP(確)
(アジア) 9月 インドネシア 毎月勤労統計
(アジア) 9月 フィリピン フィリピン労働者送金
(アジア) 中国 MLF(1Y)
(アジア) 休場 インド
(欧州) 10月 仏 CPI(確)
(欧州) 3Q 英 時間当り生産高
(米国) 10月 小売売上高
(米国) 10月 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(米国) 10月 鉱工業生産 / 設備稼働率 / 製造業
(米国) 11月 ニューヨーク連銀製造業景気指数
(米国) 9月 企業在庫
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。